

# 全国市議会旬報

第2112号

ぜんこくしぎかいじゅんぱう

令和2年 2月25日 (2020年)

毎月3回5の日に発行  
発行 全国市議会議長会

〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-2  
代表 TEL 03(3262)5234  
旬報 TEL 03(3262)2309  
発行人 滝本 純生  
<http://www.si-gichokai.jp>

## 発展的解消へ活動方針報告

### 広域協第51回総会

全国広域連携市議会協  
議会(会長 山田延孝鳥  
取市議会議長)は2月13  
日、都市センターホテル  
で第51回総会を開催し、  
昨年10月に実施したアン  
ケートの結果、協議会を  
発展的解消する旨を報告  
した。



あいさつする山田会長  
(鳥取市)

冒頭、山田会長は「広  
域連携は、今後の地方創  
生の進展において重要な

役割を担うものであり、  
引き続き広域連携施策に  
対する支援措置を求める  
必要がある」などとい  
う旨を述べた。

協議では、昨年10月1  
日に実施した「今後の本  
協議会のあり方に関して  
のアンケート」の結果に  
ついて説明。本協議会の  
存廃についての設問で  
「広域連携市議会協議会  
を発展的に解消し、国に  
対する要望事項を全国市

議会議長会の委員会へ委  
ねる」が最多となったこ  
とから、今後協議会を廃  
止して発展的解消を図り、  
要望事項を全国市議会議  
長会の委員会に引き継げ  
るよう申し入れを行う方  
針である旨などを報告し



監査結果報告を行う  
武知監事(徳島市)

令和2年度活動方針案  
では、来年2月開催予定  
の第52回総会を解散総会  
とし、2年度をもって協  
議会の活動を終えること  
を説明した。

ほか、平成30年度会計  
決算について、武知浩之  
監事(徳島市議会議長)  
から監査結果報告があり、  
これを認定した。



講演する幸田教授

## 台風19号被災地視察 東北4市

大きくえぐられた堤防  
とブルーシート。被災の  
跡の残る住宅。

昨年10月の台風19号・  
豪雨は全国各地に甚大な  
被害をもたらした。

本会の野尻哲雄会長  
(大分市)と副会長らは  
2月12～14日に福島県  
いわき市、同県郡山市、宮  
城県大崎市、同県角田市  
の4市を訪問し、被災と

復旧状況を実際に見て回  
った。

台風が襲い、河川が氾  
濫、人命までもが失われ  
る緊迫した状況を現地の  
市議会議長や市幹部が克  
明に説明し、副会長ら  
は真剣に聞き入った。

本会はこうした被災地  
の声を国への要望活動な  
どへ反映させていく。  
詳細は後日掲載。

講演では、幸田雅治神  
奈川大学法学部教授から  
「今後の広域連携につい  
て」と題し、▽総務省の  
「自治体戦略2040構  
想研究会報告書」▽第32  
次地方制度調査会▽これ  
までの広域連携の仕組み  
と評価▽広域連携の今後  
のあり方▽広域連携にお  
ける議会の役割について  
説明があった。



阿武隈川の越水箇所  
(郡山市)



夏井川の決壊箇所  
(いわき市)



排水機場の状況説明  
(角田市)



全域の被害状況説明  
(大崎市)

# 高速道路整備促進を決議 新会長に神野御殿場市議長

## 高速協第46回総会



神野新会長  
(御殿場市)

全国高速自動車道市議会協議会(会長 石倉彰 魚津市議会議長)は2月12日、都市センターホールで第46回総会を開催。



開会あいさつする  
石倉会長(魚津市)

新会長市に御殿場市を選任した。総会後の14日に行われた御殿場市議会の臨時会で神野義孝議員が議長に選出され、同日付で高速協の新会長に就任した。

した。

総会では冒頭、石倉会長が「令和2年度道路関係予算案では対前年度比で増額確保となる成果が得られた。道路関係予算が増額確保されたことは本協議会の一致結束した要望活動の賜物である」などとあいさつ。

続いて、衛藤征士郎高速道路建設推進議員連盟会長(衆議院議員)、村井嘉浩全国高速道路建設協議会会長(宮城県知事)の代理である日高健同協議会事務局長代行から来



あいさつする  
衛藤議連会長

賓あいさつがあった。

協議では、平成30年度会計決算について小坂直親監事(亀山市議会議長)から監査結果報告があり、これを認定。令和2年度の活動方針案、予算案などを原案通り決定した。

役員改選では、選考委員長の関根正明副会長(妙高市議会議長)が、新会長候補市を御殿場市とすることなどを報告し、新役員が選任された(新役員市一覧を下掲)。新会長市である御殿場市議会は2月10日任期満了で

議長が空席のため、黒澤佳壽子議員が御殿場市議会を代表してあいさつを行った。続いて、石倉前会長が前役員を代表して退任のあいさつをした。このほか、新副会長9



選考結果を報告する  
関根選考委員長(妙高市)



監査報告する小坂監事  
(亀山市)

名のうち渡辺由紀雄本宮市議会議長が会長代理へ就任した。相談役は新会長就任時に委嘱することとされ、14日付で石倉前会長が相談役へ委嘱された。

早期実現や、高速道路を活用した津波避難所の構築といった災害対策の強化などを図るよう強く要望する内容で、政府・与党幹部、国会議員らに要望活動を行う。

講師説明では、山本巧国土交通省道路局高速道路課長が「高速道路に関する最近の話題」と題し、▽高速道路ネットワーク整備▽スマートインターチェンジ▽中京圏料金体系の見直しなどについて講演した。



総会の模様

### 【新役員市一覧(理事除く)】

- ▽会長 御殿場市
- ▽副会長 函館市、本宮市(会長代理)、滑川市(会長代理)、豊田府中市(東京都)、豊田



御殿場市議会を代表しあいさつする黒澤議員(御殿場市)

### 議会人事

- ▽議長 大室 尚(1.9)
- ▽上尾 加藤克明(2.5)
- ▽吉川 護得久朝文(2.10)
- ▽浦添 江内谷満義(2.12)
- ▽都城 久枝邦彦(2.13)
- ▽松浦 齋藤久代(2.17)
- ▽取手 齋藤久代(2.17)
- ▽副議長
- ▽上尾 長沢 純(1.9)
- ▽吉川 稲垣茂行(2.5)
- ▽都城 佐藤紀子(2.12)
- ▽松浦 谷口一星(2.13)
- ▽取手 結城 繁(2.17)

# 第139回国会対策委員会



あいさつする横山委員長  
(横浜市)

国会対策委員会(会長  
横山正人横浜市会議  
長)は2月17日、ルポー  
ル麹町で第139回委員  
会を開催した。

冒頭、横山委員長は「主  
な要望活動の結果として、  
令和2年度税制改正で地  
方税が前年度を上回る過  
去最高額の41兆円となっ  
た。2年度地方財政対策  
については地方の一般財  
源総額、地方交付税総額  
ともに増額確保された。  
併せて、臨時財政対策債



講師説明する  
稲岡審議員



会議の様相

の発行が前年度から抑制  
されるとともに残高を減  
らすこととなった。これ  
もひとえに国会議員に対  
する要望活動を行ってい  
ただいた皆様のお力添え  
の賜物と厚く御礼を申し  
上げる」などとあいさつ  
をした。  
協議では、令和元年度  
要望事項の結果概要、今  
後の運営について説明、  
了承した。  
講師説明では、稲岡伸  
哉総務省大臣官房審議官  
(税務担当)が「令和2  
年度地方税制改正等につ  
いて」と題し、▽地方税

## 新庁舎落成

の現状▽令和2年度地方  
税制改正(案)の概要等  
▽今後の検討課題等一な  
どについて説明した。

▽五島市(長崎県)  
郵便番号、住所、電話番  
号、ファクス番号は変更  
なし



【イメージ提供=五島市】

## 田中首相番記者の回顧録

### 猪股佐渡市議長



猪股議長  
(佐渡市)

本会地方財政委員会委  
員の猪股文彦佐渡市議会  
議長(72)が、「田中番  
が見た『角さん』の真  
実」を出版した。時事通  
信社政治部記者時代、田  
中角栄首相番として張り  
付いた激動の886日の  
回顧録。議員の「卒業論  
文」だそうだ。

「日本列島改造論」をは  
じめ、ライバルとしてのぎ  
を削った『三角大福中』  
戦争、日中国交正常化、  
越山会の女王、ロッキ  
ド事件、番記者から親し  
まれた  
普段着  
の『角  
さん』。  
当時の  
取材メ  
モを基  
に首相  
の肉声  
を伝え  
ており、  
歴史の  
現場証  
人が明  
かす興



「政治  
家とし  
て必要  
な二つ  
の能力  
に突  
出した  
稀有な  
人物」と  
記

味深い内容だ。  
猪股記者は当時24歳前  
後の駆け出し。新潟県出  
身の唯一の総理大臣は、  
同郷のよしみからすべて  
の垣根を取り払って付き  
合ってくれたという。め  
ったに入れない総理大臣  
室に通され、「センスを  
バタバタさせながら、ま  
るで旧知の間柄のように  
『イヨオー』と声を掛け  
てきた。緊張していたら  
『君は佐渡出身だっ  
て?』と親しみ深い笑顔で、  
『頑張ってくれよ』と激  
励され一気に緊張がほぐ  
れた」  
人物像では、人々をま  
とめあげる力、国の将来  
を見通  
しながら  
ら政策  
を  
実行  
する力  
という  
「政治  
家とし  
て必要  
な二つ  
の能力  
に突  
出した  
稀有な  
人物」と  
記  
した。「政治家＝立法者  
であることを徹底実践し  
た唯一無二の存在」とし  
て、国会議員で手掛けた  
議員立法が33件に及んだ  
ことも紹介。その代表が  
道路整備費の財源を確保  
するためガソリン税を設  
けた道路整備特別措置法。  
「議員によって法律を立  
案、提出し、法律を作る  
議員立法は、まさに立法  
府に属する国会議員の最  
大の権限なのだ。ところが  
が実際はどうか?議員の  
多くは法律に疎く、自ら  
立案し提出することはあ  
まり見られない」と力を  
込めた。  
猪股議長は4月の市議  
選に出馬せず、今期限り  
で議員を引退する意向。  
田中元首相が平成30年に  
生誕100年を迎えたこ  
ともあり、「一人の首相  
番記者の記録が、少しま  
も今後の参考になればと  
考え、『遺言』のつもり  
で書いた」という。

# 女性 いまだ1割台

## 市議会議員の属性調査

本会は元年11月、「市議会議員の属性に関する調査(令和元年7月集計)」を本会ホームページで公表した。調査は「全国市議会現況調査」及び「全国市議会議員現況調査」として、全国815市区を対象にオンライン調査により行い、回収率は100%。公表項目は①議員の年齢構成②議員の在職年数③議員の兼業の状況④議員の所属党派⑤市議会事務局職員数①の5項目。本紙では、調査結果について、一部、過去の数値も取り上げ掲載する。調査回答時の議員数は1万8889人。

### 議員の年齢構成

男性議員は1万5769人(83.5%)、女性議員は3120人(16.5%)。女性議員は平成20年8月の調査開始時(12.6%)から少しずつ増加しているものの、いまだ1割台に留まっている。議員の年齢構成(表①)では、男女合わせて割合が高い年代は「60〜70歳未満」の37.0%。次いで

「50〜60歳未満」の24.6%。

男女別集計でも「60〜70歳未満」が最多であり、女性36.1%、男性37.2%。次いで「50〜60歳未満」の女性31.4%、男性23.3%となっている。「60〜70歳未満」と「50〜60歳未満」を男女別に見ると、女性の4.7ポイント差に対し、男性は13.9ポイント差がある。

表① 議員の年齢構成

年齢構成		30歳未満	30〜40歳未満	40〜50歳未満	50〜60歳未満	60〜70歳未満	70〜80歳未満	80歳以上	平均年齢
男性	15,769人 (83.5%)	93人 (0.6%)	880人 (5.6%)	2,382人 (15.1%)	3,676人 (23.3%)	5,859人 (37.2%)	2,770人 (17.6%)	109人 (0.7%)	59.1歳
女性	3,120人 (16.5%)	19人 (0.6%)	203人 (6.5%)	505人 (16.2%)	979人 (31.4%)	1,126人 (36.1%)	286人 (9.2%)	2人 (0.1%)	56.9歳
合計	18,889人 (100%)	112人 (0.6%)	1,083人 (5.7%)	2,887人 (15.3%)	4,655人 (24.6%)	6,985人 (37.0%)	3,056人 (16.2%)	111人 (0.6%)	58.8歳

※割合(%)…男女それぞれの議員数に占める割合、合計は全議員数に占める割合  
※割合(%)は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある

表② 議員の平均年齢の推移(直近10年)

年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
平均年齢(歳)	58	57.7	58.2	58.7	59.0	58.1	58.7	59.2	59.6	58.8

※22年は調査結果に小数点以下の表記がない  
※過去の調査結果を基に本紙が作成

表③ 議員在職年数

在職年数		5年未満	5〜10年未満	10〜20年未満	20〜30年未満	30〜40年未満	40〜50年未満	50年以上
男性	15,769人 (83.5%)	5,011人 (31.8%)	3,683人 (23.4%)	5,104人 (32.4%)	1,582人 (10.0%)	301人 (1.9%)	85人 (0.5%)	3人 (0.0%)
女性	3,120人 (16.5%)	1,324人 (42.4%)	678人 (21.7%)	825人 (26.4%)	258人 (8.3%)	34人 (1.1%)	1人 (0.0%)	0人 (0.0%)
合計	18,889人 (100%)	6,335人 (33.5%)	4,361人 (23.1%)	5,929人 (31.4%)	1,840人 (9.7%)	335人 (1.8%)	86人 (0.5%)	3人 (0.0%)

※割合(%)…男女それぞれの議員数に占める割合、合計は全議員数に占める割合  
※割合(%)は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計数は100%にならない場合がある

「80歳以上」は男性109人に対し、女性は2人。男女合わせての平均年齢は58.8歳となった。統一地方選の年ということもあり、平成27年以来、

4年ぶりに低下したものの(表②)、全体的な高齢化傾向は変わっていない。男性の平均は59.1歳、女性の平均は56.9歳となり、男性は

「70〜80歳未満」が「40〜50歳未満」より多いなど女性に比べ高齢議員が多い傾向にある。

### 議員在職年数

議員の在職年数(表③)を見ると、男女合わせて割合が高い年数は「5年未満」の33.5%。次いで「10〜20年未満」の31.4%、「5〜10年未満」の23.1%の順。

40年以上の議員は、男性が「40〜50年未満」85人、「50年以上」3人の計88人に対して、女性は「40〜50年未満」1人。10年未満の議員は56.6%で、前回30年の51.1%から5.5ポイント上昇した(5面表④)。

### 議員兼業の状況

議員の兼業状況の調査結果から、専業状況を5面表⑤として抜粋した。男女合わせての専業割合は46.4%で過去最高。女性は69.3%、男性は41.8%となっている。次いで、農業・林業が、男女合わせて11.2%となっている。

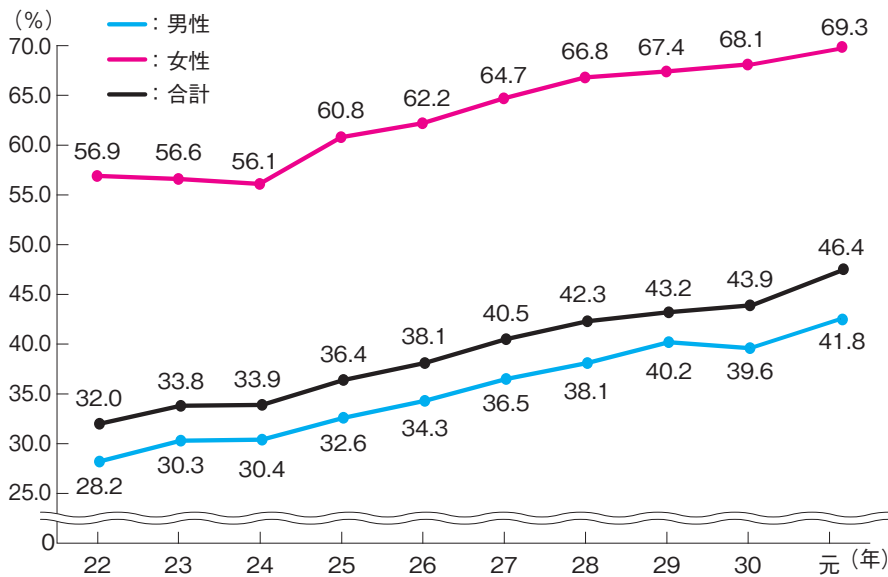
22年以降の10年間の議  
【5面へ続く】

表④ 在職10年未満議員の全体に占める割合の推移

年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
議員数(全体)	21,201人	20,388人	20,234人	19,966人	19,709人	19,364人	19,284人	19,172人	19,022人	18,889人
議員数(在職10年未満)	13,029人	13,838人	12,024人	11,721人	10,733人	11,970人	10,990人	9,526人	9,715人	10,696人
割合	61.5%	67.9%	59.4%	58.7%	54.5%	61.8%	57.0%	49.7%	51.1%	56.6%

※割合(%)は、それぞれ小数点以下第2位を四捨五入で表記している  
※過去の調査結果を基に本紙が作成

グラフ 議員の専門割合の推移(直近10年)



表⑥ 市議会事務局職員数(全国・人口段階別平均職員数)

人口	5万人未満	10万人未満	10~20万人未満	20~30万人未満	30~40万人未満	40~50万人未満	50万人以上	指定都市	全国
市区数	276	252	156	46	28	22	15	20	815
平均職員数	4.5人	5.9人	8.5人	13.0人	16.2人	18.2人	20.1人	34.2人	8.0人

※臨時・非常勤職員を除く

「観光施策の推進は地域に観光収入の増加、雇用機会の創出、地元企業の成長などをもたらし、地域の活性化に大きく寄与することが期待される」と分析、「観光による交流人口拡大を新たな成長のエンジンとすることは、資源が少なく、食料、エネルギー自給率の少ない我が国にとって極めて有効な手段である」と指摘

報告書は、人口減少、少子高齢化の進行が進む日本にとって観光が大きな役割を果たすとして、「観光施策の推進は地域に観光収入の増加、雇用機会の創出、地元企業の成長などをもたらし、地域の活性化に大きく寄与することが期待される」と分析、「観光による交流人口拡大を新たな成長のエンジンとすることは、資源が少なく、食料、エネルギー自給率の少ない我が国にとって極めて有効な手段である」と指摘

【6面へ続く】

【4面から続く】  
員専門割合の推移(グラフ)を見ると、男性と男女合わせての専門割合は、

毎年増している。  
市議会事務局平均職員数  
市議会事務局の人口段階別の平均職員数は表⑥の通り。人口規模が大きい自治体ほど、職員数も多い傾向になっている。

表⑤ 議員専門の状況

性別	議員数	議員専門
男性	15,769人	6,594人(41.8%)
女性	3,120人	2,163人(69.3%)
合計	18,889人	8,757人(46.4%)

※カッコ内は性別・合計の議員数に占める割合

都市行政問題研究会(会長 阿部真之助福岡市議会議長)はこのほど、「都市における観光、インバウンド等への対応」

都市研  
報告書  
**観光による交流人口拡大を  
オーバーツーリズム対策必要**

と題する報告書をまとめた。日本は今後の発展のためにも観光による交流人口拡大を図るべきだと提言し、一方でオーバーツーリズム(観光公害)など新たな課題にも向き合う必要があるとの見方も示した(2月15日付旬報参照)。  
報告書は、人口減少、少子高齢化の進行が進む日本にとって観光が大きな役割を果たすとして、「観光施策の推進は地域に観光収入の増加、雇用機会の創出、地元企業の成長などをもたらし、地域の活性化に大きく寄与することが期待される」と分析、「観光による交流人口拡大を新たな成長のエンジンとすることは、資源が少なく、食料、エネルギー自給率の少ない我が国にとって極めて有効な手段である」と指摘

した。

各地での観光振興の取り組みを示す中、東日本大震災の被災地への観光面での支援などについて報告。「福島県の成長は他の地域と比べて低く、重点的なサポートが必要」「ホテル・旅館の耐震化のため金融・財政支援の拡充をお願いしたい」など、加盟市から出ている意見や要望も取り上げた。  
報告書はまた、京都、長崎両市の視察結果などをともに両市の観光公害へのさまざまな取り組みを紹介し、基本的な姿勢として「安易に観光客を排除するのではなく、環境や市民生活との調和を図るためのさまざまな努力を積み重ねていくことが重要だ」と強調した。  
報告書はさらに「観光をまちづくりの要として総合戦略の位置づけにすることを検討し、都市全

議会

トピックス

台風第19号等からの復旧・復興

「令和元年台風第19号等からの復旧・復興に向けた対策」が73件で最多。

意見書では台風19号等が各地にもたらした甚大な被害からの復旧・復興について、今後の生活支援、住まいの早期確保、産業・生業の支援など被災者に寄り添った支援が求められていると指摘。その上で①被災者の1日も早い生活再建のため、既存制度の対象拡大や要件緩和など弾力的な運用

決定機能をはじめ監視機能や政策形成機能を担う議会の役割がより重要になる」と結んだ。同研究会は、本調査研究テーマを決定した平成30年8月から、現地調査を実施したり、加盟76市の実施②医療施設、社会福祉施設、学校教育施設等の復旧、再開に向けた必要な支援③被災した事業用建物、設備、機材等の復旧を支援する補助制度の創設④旅行商品・宿泊料金の割引等に対する必要な観光支援⑤復旧作業の進捗を見極めた補正予算の編成についての適切な判断⑥「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の計画とおりの遂行および継続した予算措置の実施について求めている。

「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策強化

「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策

元年11月から2年1月に可決した意見書・決議の議決状況

件名	意見書	決議
○令和元年台風第19号等からの復旧・復興に向けた対策	73	—
○「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化	72	—
○豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策	29	—
○スマート農業の実現による競争力強化の加速	26	—
○再編統合等に向けた公立・公的医療機関等の公表等の見直し	17	—
○免税軽油制度の継続	15	—
○新たな過疎対策法の制定	14	—
○天皇陛下御即位を祝す賀詞	—	13
○義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充	10	—
○国の私学助成の拡充	8	—
○ライドシェア導入に対する慎重な検討	8	—
【小計】	272	13
○その他	321	30
【総合計】	593	47

※件名は代表的なもので、同内容のものも含めている  
※意見書・決議の件数が多い順に掲載

台風等からの復旧・復興 全国で意見書可決

意見書・決議 元年11月～2年1月

令和元年11月から2年1月に全国の市議会でも可決した意見書・決議のうち、本会に報告があったものを取りまとめた。件数の多い順に主な内容を紹介する。

【5面から続く】  
インバウンド観光施策を進める中、地方議会の役割については「審議等の公開を通じて細めに発信しつつ丁寧に説明していくことが重要」「観光公害などの困難な課題の解決に向け、団体意思の

決定機能をはじめ監視機能や政策形成機能を担う議会の役割がより重要になる」と結んだ。同研究会は、本調査研究テーマを決定した平成30年8月から、現地調査を実施したり、加盟76市

の実施②医療施設、社会福祉施設、学校教育施設等の復旧、再開に向けた必要な支援③被災した事業用建物、設備、機材等の復旧を支援する補助制度の創設④旅行商品・宿泊料金の割引等に対する必要な観光支援⑤復旧作業の進捗を見極めた補正予算の編成についての適切な判断⑥「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の計画とおりの遂行および継続した予算措置の実施について求めている。

や観光施策に先進的に取り組む8市(※)を対象にアンケートを実施したりして研究を進めていた。 ※釧路市、小樽市、横浜市、熱海市、鳥羽市、高山市、宮津市、佐世保市。

策の強化」は72件。多くの意見書が元年8月に発生した常磐自動車道のおおりに運転事件について触れ、①「あおり運転」の規定を新設し、厳罰化については、実効性のある法改正となるよう、早急に検討を進める②運

転免許更新時の講習において、あおり運転等の危険性取り締まりについての講習の実施、教本や資料などへのこれらの事項の記載③あおり運転等の行為が禁止され、取り締まりの対象となることや、「あおり運転」を受けた場合の対処方法などについて、警察庁及び都道府県警察のHP、SNSや広報誌などを効果的に活用した周知を求めた。

豚コレラ対策

「豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ具体的な

な対策」は29件。 昨年9月、26年ぶりに国内発生した豚コレラについて、全ての意見書で、①飼養豚へのワクチン接種の早急な実施、ワクチン接種後の豚の円滑な流通について取引価格の下落や風評被害の防止②豚コレラ感染野生イノシシの拡散抑止のため、野生イノシシの捕獲強化や戦略的な経口ワクチンベルト構築③アフリカ豚コレラの国内侵入のための防止罰則の強化も含めた一層の水際対策の強化徹底について要望している。